

講義名	教育課程論【教職に関する科目】		
科目区分	教職に関する科目		
担当教員	水田 聖一		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	14022

主題と概要

教職に関する科目（教職課程及び指導法に関する科目）

- ・教育課程の意義及び編成の方法
- ・各教科の指導法
- ・特別活動の指導法
- ・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）

学校は、子どもに何を教え、何を学ばせるのか。この「何を」に当たる教育内容を、子どもの必要と社会的必要とに基づいて検討し、構造化し、評価するのが教育課程研究の基本課題です。そのような子どもの必要とは何か、社会的必要とは何かを誰が、どのようにして、何を基準として判断し、評価するかは、重要な教育問題であり、社会問題、政治問題でもあります。この講義では、そのような問題を解決するための思考力を身につけられるよう、歴史的観点など様々な視点から教育課程を考察します。

到達目標

教育課程の意義と歴史、教育課程編成の原理と方法、21世紀の学校と教育課程の改革について学ぶ。
 教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）

提出課題

プレゼンテーション用パワーポイント、ノート提出・小レポート(感想・コメント)提出

評価の基準

定期試験・プレゼンテーション試験(60%)、発表・小レポート(40%)

履修にあたっての注意・助言他

毎回休まずに出席することが大切。欠席の多いものは成績も下がります。この授業では4回以上欠席者は、試験を受けることができません。
 A以上の成績を多く取らないと、教育実習に行けません。
 テキストを購入しないものは、授業に出ることを禁ず。

教科書

よくわかる教育課程 第2版	田中耕治	ミネルヴァ書房 2600	978462308269

プリント資料及び参考文献

高等学校学習指導要領・同解説
 文部科学省ホームページ

授業計画

1. [教育課程の意義] 教育課程(カリキュラム)とは何か、教育課程の意義、学習指導要領
2. [内容選択の基準] 何を重視するか(生活経験、社会の要求、科学、人間性)
3. [教育課程編成原理] 経験主義と系統主義、スコープとシーケンス、分化と統合
4. [発達と教育課程] 人間発達の理論、学習のレディネス、個に応じた指導
5. [教科書] 教科書の在り方と活かし方、教科書検定制度
6. [教育課程と教育環境] 学校建築、教室、学校図書館、教材と教具、学級編成
7. [カリキュラム評価] 学力の評価、授業の評価、アカウントビリティ
8. [履修スタイル] 必修科目と選択科目、履修手技と修得主義、能力別グルーピング
9. [教科課程] 諸教科のカリキュラムの特徴、教育内容の精選
10. [教科外カリキュラム] 生徒指導、道徳の時間、総合的な学習の時間、特別活動
11. [近年のカリキュラム改革の動向] 環境教育、国際理解、メディア・リテラシー、食育等
12. [方法論] 「学び方」を学ぶ教育課程の編成と実践
13. [教育課程の歴史] 我が国の教育課程の歴史
14. [教育課程の歴史] 我が国の教育課程行政、学習指導要領の変遷
15. [諸外国の教育課程] アメリカのカリキュラム、イギリス、フランス、ドイツ等

予習・復習

テキストに従って進むので、毎回予習・復習を行うこと。
 毎回発表(プレゼンテーション)を課すので、内容をしっかりと調べてくること。
 特に復習においては、人物名や事項についての発展的学習を行うこと。

備考

教員の免許状取得のための必修科目